

開講科目名 / Course	地域看護学実習	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	前期	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	川南 公代	
担当教員名 / Instructor	佐藤 愛、小野 治子、加藤 典子、藤本 優子、川南 公代、妻木 美香	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	実習	
科目の目的と概要	第5段階の地域看護学実習は、4年次前期に在宅看護論実習と並行して行われる。この実習では、大分県内の保健所や市町村保健センター等の公的機関において、地域で暮らす人々および地域全体を対象とした看護のあり方を学ぶことを目的とする。障がいや疾病をもちながら生活する人々を支援することに加え、疾病予防や健康増進といったすべての住民を対象とした看護技術を学ぶ。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域特性や社会資源に関する資料の活用や、各種保健事業への参加を通して、地域の概要や特徴を把握する方法を説明できる。 2. 保健医療福祉における保健所および市町村保健部門の機能と看護職の役割を説明できる。 3. 個人と家族のライフステージおよび地域特性に対応した、健康の保持増進と疾病予防のための援助方法について説明できる。 4. 地域で活動する自主グループの育成、地域組織活動への看護職のかかわりについて説明できる。 5. 地域における健康危機管理およびその対策にかかわる看護職の役割について説明できる。 6. 疾病対策や医療対策の動向と社会のニーズを理解し、地域において看護職に求められる役割を考察できる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3. 心豊かな人間性と倫理観、4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、5. 国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力 	
授業計画	<p>実習期間：2週間（2024年5月7日～5月31日） 実習時間：8:30～17:15（実習時間は原則として各実習施設の勤務時間） 実習場所：大分県内の県保健所、大分市保健所、市町村保健部門 実習方法：実習場所における地域看護の対象となる個人・家族・集団・地域への看護活動を見学、体験する。 カンファレンス：実習期間中、Dailyレポートおよび最終カンファレンスを設定し、実習の学びを整理・確認し、実習指導者から助言を受ける。 指導体制：担当教員は巡回型で指導を行う。</p>	
その他の授業の工夫	実習期間中に実施される保健事業に学生が目的を持って主体的に体験できるよう、実習前に自己学習を課す。	
時間外学修	<p>事前学修：個人の实習課題およびグループ課題（地域の概要調べ）など既習の知識について復習を行い、実習に備える（10h）。 事後学修：Dailyレポート、ファイナルレポートはテキストを活用しながら実習の学びを振り返る（14h）。 自分の日常生活を通して、地域にどんな人々が暮らしているのか、どんな健康課題があるのか、それらの健康課題がどのように解決されているのかなどに関心をもって実習に臨む。</p>	
評価方法と評価割合	原則100%出席。実習内容・実習態度：30%、実習記録：30%、カンファレンス参加度・実習レポートの内容等：40%	
テキスト		
参考書		
履修する上で必要な要件	地域看護学概論、生活支援論の単位を修得していること。	
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	川南公代：行政の保健師 小野治子：高校・支援学校の養護教諭 藤本優子：行政の保健師 佐藤愛：病院の保健師 妻木美香：行政の保健師 加藤典子：行政の保健師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	実習指導者：保健所および市町村保健部門で働く保健師
実務経験をいかした教育内容	エビデンスに基づいた保健師活動を実践し、その理論と確かな技術を学生に指導する。実習指導者と実習目標達成のため、密に連携して協働できる。	